

目次作品・山口牧生

これは神戸を愛する人々の雑誌です。
あなたのくらしに楽しい夢をおくる
神戸を訪れる人にはやさしい道しるべ
これは神戸っ子の手帖です。

表紙／小磯良平

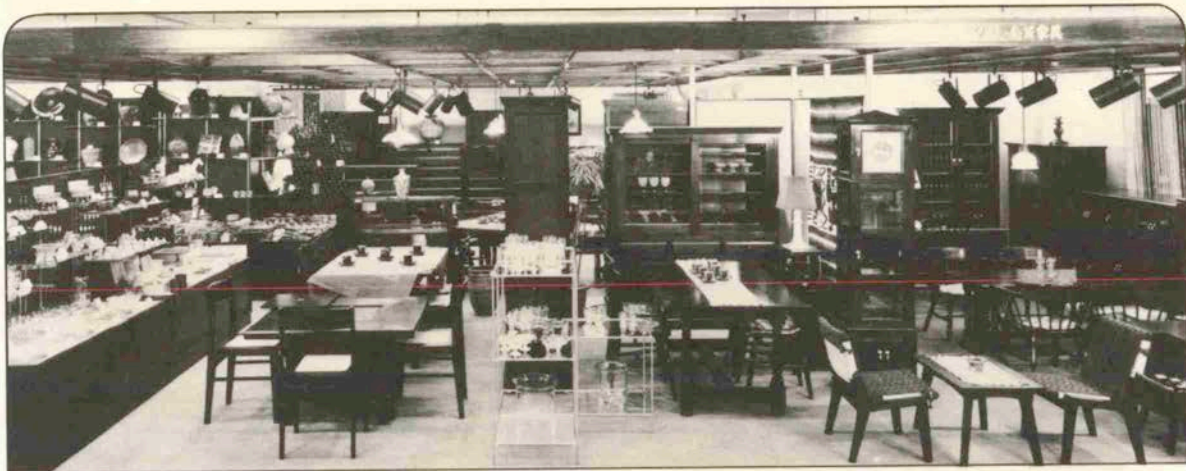
セカンドカバー／西村 功／僕の見たパリ(4)

- 9 神戸っ子'78／大森一樹／藤井喜美子
- 13 ある集い／神戸観世会
- 15 コウベスナップ
- 16 イメージの神戸(13)／増田正和
- 18 神戸のディテール(58)／石阪春生／カメラ・杉尾友士郎
- 29 わたしの意見／中村建一
- 31 随想／江崎越子／関晴子／山本文彦／藤本ハルミ／尾上菊見
- 36 ある集いその足あと／神戸観世会／上田照也
- 38 私の交友録(10)／伊藤慶之助
- 40 神戸商船大学と神戸(2)／南 正巳
- 42 インタビュー／乾 豊彦日本ゴルフ協会長に聞く
- 47 経済ポケットジャーナル

特集 神戸の女

- 48 文・鈴木 淳／安水裕和／橋元早夫／足立巻一／野口武彦／三宅 武
画・石阪春生／鶴居 玲／小西保文／中西 勝／松本 宏／山本文彦
- 61 技術ジャーナル(17)／諸岡博能
- 62 キャンペーン・国際文化都市神戸を考える(7)
ポートアイランドを文化と交流の基地に。
井尻昌一／宮岡寿雄／永田良一郎／北川勲／河野忠博
- 72 ノコの華麗なる挑戦(12)／器械体操入門／小山乃里子
- 76 KOBE FASHION SPOT
- 82 アンド&神戸／ローラン・ブティ／カメラ・橋本英男
- 86 NEU MODE MARCHEN(4)／篠原順子
- 113 神戸の催し物ご案内(4月)
- 114 オーストラリアの旅から／赤尾兜子
- 116 セガンチーニ展によせて／伊藤 誠
- 118 動物園飼育日記(140)／亀井一成
- 122 話題のひろば
- 125 神戸の集いから
- 126 神戸を福祉の町に(53)／橋本 明
- 128 ファッションレポート／砂川松枝
- 133 KFSニュース
- 134 かわいそうなアリス(16)／岡田 淳
- 136 私の映画手帖(4)／淀川長治
- 138 女体百景(69)／細川 薫
- 140 ぴつといん
- 143 神戸百店会だより
- 144 ポケットジャーナル
- 148 連載小説(4)鈍捨て(第二回神戸文学賞受賞作品)
奥野忠昭／え・犬童 微
- 154 連載小説(4)生活(第二回神戸文学賞受賞作品)
吉峰正人／え・櫻 忠
- 159 トーク&トーク・トラベルコーナー
- 174 アルファベットアベニュー「M」／新井 満・石阪春生
- 176 海船港／まぶたの女性を求めて——ロッテルダム入港

カメラ・米田定蔵／藤原保之／橋本英男／刃金和夫／遠水 亨



『お子さまにこそ
つくしのビューロー・デスクを与えて
頂きたいものです。』

今や、民芸家具の代名詞となっている「ビューロー」は、民芸運動の祖、柳先生が昭和の初期英国から持ち帰ったものを、今は故人となった伊東安兵衛さんがデザインしたものです。

材は、水目桜、樺、檜などの良材をふんだんに使っています。使い込んで頂くと、木の地肌がよく磨かれて、美しい夕焼雲のような独特の色彩に変化してきます。

ご家庭の雰囲気醸し出す大切な役目を果たすことと思います。

椅子もビューローにマッチしたものがいろいろあります。

(伊東氏はつくし工芸の顧問でした)



●ボールフット
ビューロー(樺ムク材)



日本伝統工芸協会

つくし工芸神戸店

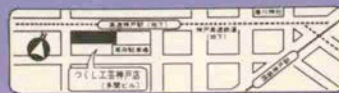
神戸市生田区多聞通り5丁目1-1

阪神家具センター1階 ☎(078) 361-2158

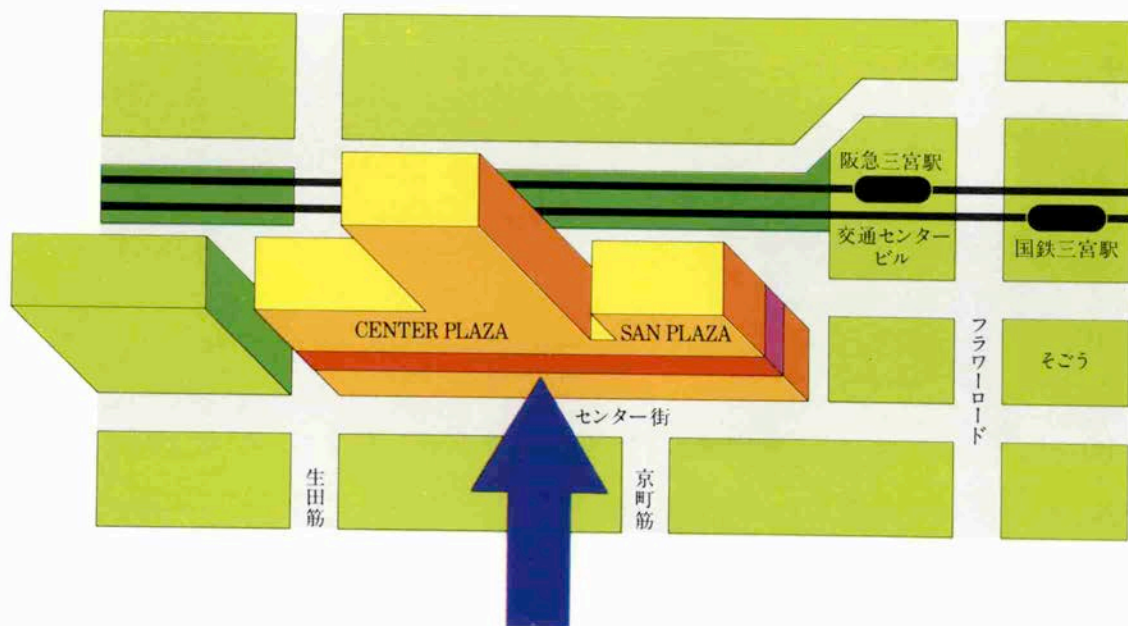
営業時間 AM10:00~PM6:00 定休水曜日

■主な展示品目

- 夏器棚 ● 雛箱 ● ドレスケース ● ビューロー ● 書機
- 食卓セット ● タンス ● サイドボード ● 漆器
- 丸形明けびいどろ ● 漆器 ● 小木工 ● 民芸陶器
- 食器灯具 ● 草王品 ● その他



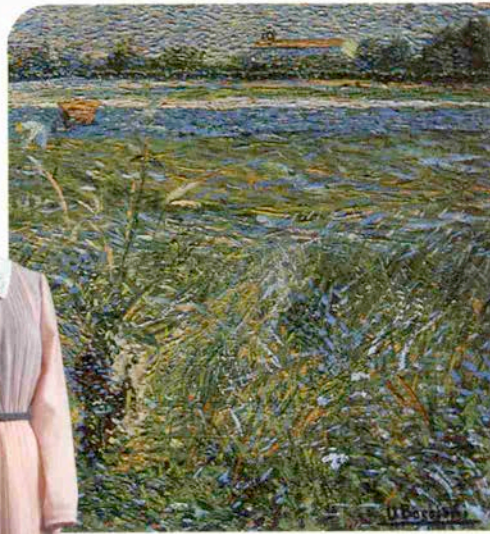
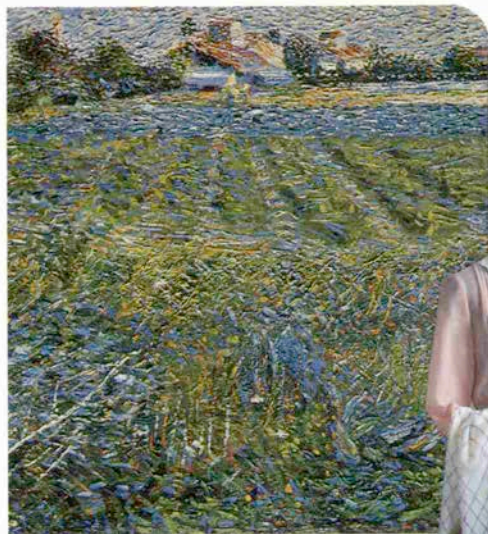
地上10メートルの公園。



神戸・三宮(センタープラザ・さんプラザ)3F

FASHION PARK

- (トータルコーディネートファッション) LIZA SALON
- (婦人服飾) 東京屋
- (舶来靴専門店) Pia
- (アクセサリ・雑貨) ルイ・ミッシェル
- (ジーンズショップ) AOYAMA EIKO
- (COLLEGE SHOP) CABIN
- (バリ・ナウファッション) フランス・アンドルヴィ
- (バリ・ナウファッション) ジョージ・レッシュ
- (婦人靴) 東京銀座ダイアナ
- (ヤング & アダルトファッション) ルベール
- (ヤングアダルトファッション) ランプ
- (ファッションバッグ・アクセサリ) 美呂
- (婦人服) 原宿CAN
- (婦人服) 銀座ケルラン
- (レディース・ファッション) 新宿高野
- (おしゃれな靴の店) BON フカヤ
- (コンテンポラリーファッション) ザ・コレクション
- (レディースファッション) 東京ギンザ三愛



- 神戸 さんブラザ店
さんちか店
- 大阪 千里阪急地下街店
阪急ファイブ
西武高槻店
泉北パンジョ店
- 宝塚 阪急ファミリーストア店
- 大津 西武大津SC店

POËTIQUE

KOBE
まさ

緑が燃える。乙女が走る。

☆私の意見

テレビは

生活にあわせて

中村 建一

〈NHK神戸放送局長〉



NHK連続テレビ小説「風見鶏」の放送にあたりまして、地元神戸の皆さんのご支援、ご協力をいただき、ありがとうございます。厚くお礼申し上げます。

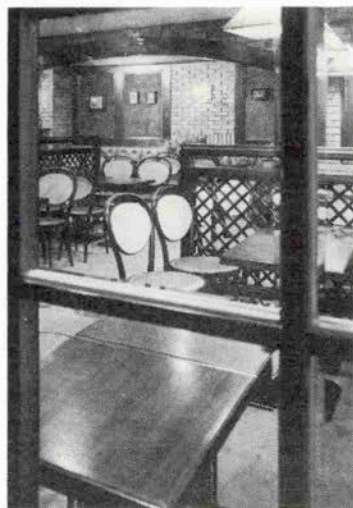
さて今年はテレビが始まって二十五年になります。昭和二十八年二月一日にテレビの放送が始まったときは一日の放送時間が四時間、視聴者の数が八六六、現在は、放送時間が、NHKだけでも、総合教育あわせて三十五時間余、視聴者が実に三万倍の二千七百万余りと、比べてみると今昔の感にたえません。改めて四半世紀のうっかりかわりの大きさを痛感しております。

NHKの生活時間の調査では、視聴者が一日平均三時間十九分(平日)、テレビをみておられるという数字がでています。まさにテレビ時代、テレビ社会といわれる所以であります。それだけにこれからのわれわれの生活はテレビを如何に上手に使うか、自分の生活にとり入れるかで、知恵の出どころということになります。テレビにふりまわされた生活になっていないか、テレビがあるから何も出来ないと考えていないか、私はこのへんを見直していただきたいと思います。

数年前、東京で青少年とテレビを考える会議に出たことがあります。その時、子どもがテレビをみて食事の家族団らんがなくなるので夕方一定時間テレビを休んでほしいという要望をきいたことがある。私は非常に不思議な気がしてならなかった。テレビはスイッチをおせば消えるものなのです。ご両親は何をしているのであろうか、家庭の役割はどうなっているのか、素朴な疑問につきあたらざるを得なかったのです。テレビは世帯主でなく、同居人にすぎないことをよく認識していただきたいと思います。テレビを生活にあわせて上手に利用されることを提案したいのです。そうしていただいてこそ、私たちの作るテレビが真の文化の向上に役立つと思います。最後にくり返し申し上げます。テレビはあくまでも同居人です。あなた自身の考えで上手に使用して、豊かな生活に役立てていただきたいと思います。

心の通う店創り

KOBE
NIKKEN



店舗装備のプロフェッショナル
(株) 神戸日建

本社 神戸市葺合区御幸通3丁目2-20
〒651 ☎ (078) 251-3525 (代)
東京 東京都中央区日本橋3丁目2-17
営業所 ☎ (03) 278-1369



Coffee & Fresh Juice 「VAN」 海岸通, 農業会館 B1

随 想

第7回ブルーメール賞受賞者による



カット・山本文彦

今、 日常を抜けて

江頭越子

△「渾木」同人▽



詩を書く以前は日常起りうる事柄を素直に受け止め日常的次元ですべてを考え、ものを見てきたように思います。そして何も知って

いなかったし、それだけに日常的に幸せだったともいえます。

急に病気になる、死が普通に來るのではなく、りんごがいつまでも赤くはなく、黒くもなり、黄色くもなり、また赤いまままで朽ちていくのを見てしまったのです。日々が日常的に過ぎて行くことが口惜しかったし、日常べったりである人を軽蔑したこともあり、規制を破壊し何かを生みだせぬものかと氣負ったこともあります。その中で詩は矛盾と氣負を吐き出す唯一の手段でした。だが十年書き続けてその都度確認し納得し何が本当で何が嘘かということが自分なりに見えて來た今、夫と二十年暮

し息子を愛し人を愛し好きな仕事を持ち続けて行く上で日常を否定しては私の場合何も生まれてきかないということなのです。

日常をあるがままに受け入れて何かもう一つの私自身の空間を作り上げて行く、それが今まで可能な限り誤魔化さずものを見たい、人を見たいと思いつけてきた私の課題のように思えます。

着物を裁った残り布にどうしようもなくひかれてそつと息を吹きかけてドレスやベストに変身させ身に添わせたいと思うのもその一つの表われなのです。身近な端布の中にささやかに創作するという喜びを実感として持ち得るのも創作などとは無縁で自由な意志すら時として殺さねばならない企業の中に身を置く夫と暮しているからです。妻と議論する余地など残さずに疲れきって帰って來る夫に男性社会の厳しさを恒間見て、女であるという甘えた場所の居心地良さの確認。その上で何かを生み出されて行くことすれば、芸術ですなどとはとてもいえないし、私はデザイナーですともいえない二入でも三人でもいいから楽しいなあーといってもらえればそれで自己の存在感はあるし、やはりそれの積み上げしかないと思います。なんといっても日常泣いたり笑ったり喋ったりする人間が一番好き

です。

何を教えてくれるのも人だし判らさせてくれるのも人だと思えるし人がいて物があって、風景があって、その間を様々な感情が飛びかって、不幸であったり幸せであったり良い人であったり悪い人であったり、納得があり、矛盾があり……何も断定出来ないのです。だから心を後にひいて視線を当てて見れば、やはり私の詩集でしかありません。

これからも詩を書き続けて行くとすれば私自身の空間の中から現実を見て、また幻想を夢見て日常と非日常の間を行ったり来たりして書いてみたいと思っています。

恩師、井口先生のこと

関 晴子

△ピアノスト△



春の訪ずれと共に、ブルーメール賞という素敵な賞を頂いた。私

にとって思いがけないことである。うれしい思いをかみしめながらも、これからのことを思うと、多少なりとも責任を感じる。ちょうど一本の苗を手にした時のように……。日ごとに水を与え、太陽にあて、心をこめて育てて行かなければならない。日照りが続く時や嵐の時こそ強められて行くことを願いつつ、私はこの大きな励みを与えて下さったことを心から感謝している。

ピアノの恩師である井口基成先生に、早速お手紙で受賞のことをお伝えした。きつと喜んで下さるに違いない。「これから頑張つてやりなさい」というお声が聞こえて来るようである。井口先生はこのたび『わがピアノ、わが人生』という回想を出版された。『音楽現代』で一年に渡って掲載されたものをまとめられたのであるが、先生の本を手にして、今一度私は新鮮な感動を以って一息に読み終えたところである。

子供の頃から一番影響を受けて来た男性といえば、父親は別として、井口基成先生といえるかもしれない。それほど私にとって先生は大きな存在であった。十二才から現在に至るまで——途中、師の渡仏中と私のアメリカ留学中の計四年半を除いて——二十数年は教えて頂き、ずい分お世話になって

いることになるのだが、本を読ませて頂いて、我ながら驚いた。今まで知らなかった先生の内部を覗いたような気がしたのである。特に師の若かりし頃の悩みや心の格闘、そしてまたほとばしる情熱には、切々と胸打つものがあり、長い間を通じて唯々怖いという思いのみで過してきたせいもあってか四十代頃の師に接して当時の私は、片寄った見方で先生のある一面しか知らなかったのだということを今になって思う。過去をふり返り、今あらためて、一人のピアノストとして、師として、また男性性として見つめること、そのスケールの大きさに驚き、最も人間的な生き方に感嘆せずにはいられないのである。その上抜群な記憶力と精神力は今もって頭が下るばかりである。同時に昔のレッスンのことが鮮かに甦って来た。文中で先生ご自身、女性とのいきさつを一切省略しては本来の自分の姿でありえないというようなことを書かれておられるが、私から見ると（先生の弟子なら誰もがそうだと思うが）レッスンなくして師を語ることはできないのである。それほどレッスンは強烈であった。とにかく『怖い』の一言に尽る。今は別人のごとく穏やかになられたが、ひと昔前はスバルタ式の全盛期ではなかったかと思う。お相撲

さんみたいに太っておられたので力も強く、一寸押されると、先生は触れた位のつもりでも、ピアノの椅子から落ちそうになるので足をふん張らなければならなかったし、額、頬、頭とところかまわず叩かれるのはしょっちゅうであった。最近はそのようなこともないから、今となつては懐しい限りである。

考えてみると、今日の自分があつたのも先生のおかげであり、あらためて感謝せずにはいられない。このたびの受賞を一つの区切りとして、さらに前進して行きたい、それが私のつとめであるとも思っている。

SELF PORTLATE

山本文彦

△洋画家△



小学生の頃、古い小さな画集でダリとエルンストを見たことがある。秘密と悪徳(?)の匂いに満ちた雰囲気、かなり性的な刺激すら感じて、何度もひそかに眺めたことを覚えていて。以来ずつと夢の世界への興味が続いている。レンブラントの「夜警」を見た時には、人の営為の大きさに打ちのめされる思いがした。絵具のついた一つの平面にすぎないけれど、絵は見る人の物の見方を根底から覆し、方向づけてしまうものだと思じている。

一日の仕事が終って疲れた身体を好きな絵の前に置いた椅子に沈めて、眺め入る鑑賞の楽しみを語る人がある。そういう話を聞くと嘘のない、長く見続けることができる、ほんものの絵を描きたいと

思う。

絵は作者の全ての知恵の集積だというが、結局絵は物でもあつて物としての質の高さをそなえていなければならぬ。知恵と物とを結びつけるには手仕事を積み重ねて行くより仕方ないのだと思う。一月描き込んだ絵ならば、誰に見られても一月の鑑賞に耐えるのではない。一年描いたら一年はもつだろうと思う。

いつも新しいヴィジョンを開きたいと思う。いつも幻視者でありたいと思うが、これは生来のものであつて、願つてなれるものではない。ひらめきと飛翔を楽々と重ねて行けるのは天才である。時々しかひらめかない頭の持主は、長い時間をかけて、その時々ひらめきを拾い集めて積み重ねて行かなければならない。そのかわりひよつとしたら、その集積は祈りのような敬虔な美しさを示すかも知れない。

私の性格は生まれ年の通りに実にウシ的だと時々思う。いつものつそりとひたすら進むしかないし、それで良いのだと思つていて少々の障害は体力で乗り越えられるしかない。

絵描きは嘘をついてはいけなさと香月先生に教えられた。自分の仕事を誠実に重ねて行けば、銜うことも恥じることもないのだと思



う。自分の仕事を少しでも高めようとする努力は、少しでも良いものを人に見せたいという欲望とつながっている。現在のありのままの自分を素直にぶちまけてしまうことをせず、良いところだけをまとめて見せようとする気持は一種の嘘ではないのかと時々反省する。しかしその制限を取り去ってしまうと自分が崩れてしまいそうで危なっかしい。

歳を重ねる他ないのだと思っている。

神戸人よ 誇り高く

藤本ハルミ

△服装デザイナー△



ごく最近のことで御記憶の方も多いと思うが、サンブラザの八階のサンロイヤルに新店していた東京は銀座の有名店、そのほとんどが一勢に引き上げた。

英国屋とか銀座花菱、銀座マギーとか全国的に名の通った店がデ

ナント不足のためびっくりする位良い条件で出店していたらしいのに、ついに9カ月頑張っておしゃれ神戸人たちを呼べなかったわけである。他都市では銀座有名店が集まって店を開けば必ず客を呼べ経営がなりたつものらしい。如何なるアシデントがあったにせよブランドに弱い日本人の中で神戸人だけは天下の銀座に征服されなかったわけである。

私も長年商売をやっていて神戸のおしゃれ人種のプライドの高き合理性、それに個性を守る芯の強さに感心することが多い、現代のようにマスコミが発達し売らんかなの過剰生産、過剰宣伝のファッションの世界の中で己の美を間違わず追求するということは大変なことである。

ファッション都市神戸の呼名のもとに商店街はむやみにふえ続け、昨日までおまんじゅう屋をやっていた人が今日はブティックの主人など近頃よく聞く話であるが、こうなってくると明治以来外人と共につくり上げてきた神戸の街の神戸人のハイセンスに期待するより仕方がないのではないだろうか……。

日本中でも一番多く外人が住みついているというこの街では、神戸生れの外人達は神戸弁を使ってすっきり神戸っ子になりきっている。

るけれど、アメリカ人もインド人も中国人もそれぞれ祖国の文化に誇りをもって各国人各様に色とりどりの生活を楽しんでいる。こんな外人達にまじって何代も生活しているうちに個性を大切にする本物志向な神戸人のセンスが知らず知らずのうちに育ってきたのではないだろうか。

マスコミの魔術のような宣伝にかららない、自分で考え、自分で選び、自分で反省し、ますます素敵な神戸センスを磨きあげよう。

私なども二代続きの船乗りの家庭に生れ戦前から割合バタクさい環境の中で大きくなったが、戦後大阪は中座で武智歌舞伎を見た時の強烈な印象を忘れることができない。ああこれこそ日本だ、私の血だ、とその夜は眠れぬ程の興奮ぶりです。正に日本伝統文化に対する開眼の日であった。初めてヨーロッパに旅し、ヨーロッパ文化と身近に接した時も、私はむしろ日本民族や日本文化の異質さを深い感動と共に想いおこしたものでした。それ以来私は自分の美意識を磨き日本女性が一番美しく見える衣裳を作りたいと願ひ続けています。

このたびブルーメール賞の対象となったファッションショー「流れる季節に」もこんな願いをこめ製作いたしました。

日本中がアパレル産業陣の企画

と宣伝にぬりつぶされていても、神戸へ来れば色とりどりの個性が咲き誇っているように。

神戸人よ、誇り高く……。

須磨の四季の中で

尾上菊見

△邦舞家△



きびしく長い北風の冬から、ようやく春の季節が訪れると、草木は迎えた春を謳歌するかのようにな、こぞつて花開き、野を山をそして街を美しく彩ります。桜の花が爛漫と咲き競う姿も、人々の心をとらえるものがあると思います。が、私はむしろ早春の頃、馥郁たる香りを放ちながら咲く沈丁花、可憐な薄桃色の梅の花びらに春を肌を感じ、何かほっと心和む気持ちがあります。

そして四季の中で私の最も好きな五月、ものうい、けだるい、埃っぽい春から、渡る風も何かすがすがしく感じられる新緑の頃、私

の誕生日を迎えます。心の中にまでカビの生えそうな湿っぽい、梅雨が明け、ぎらぎらと照りつける太陽の季節、約一カ月間お稽古いっさい（教えることも、習うことも）お休みのバカンス、毎年大して変りばえのしない旅行ではあるけれど、やはり、何か心楽しく、その日の来るのが待たれます。

そして舞踊家にとっては、シーズンの秋を迎えます。発表会だ、各派の会だと、あつというまにその年も終ってしまいます。

そして新年、特に今年は、こういうことをやってみようとか、こんなことをしたいとか、とりたてて考えはしないけれど、一舞台、一舞台を大切に、その時点での最高の舞台であるように、一生懸命努力しお稽古をします。たとえば、結果が良くても、悪くても、自分自身悔いのないよう、あらゆる点に気を配り、心をこめて、舞台にのぞみます。役者衆のお芝居は、初日にダメが出て、二日目、三日目とやり直しができますが、舞踊の場合は、初日の千秋楽、あそこを、こうしたら良かったと思ってもあとの祭、一発勝負のようなもので、深く考えたと恐ろしくさえることがあります。でもそれだからこそ、一舞台、一舞台に命をかけたといえる程の情熱を、燃やすことができるのだと思います。

いつの日か、一般のお客様（プレイガイドで切符を買って下さる）を動員し、五日間位、リサイタルのできるような、舞踊家になりたいという、途方もない夢をもっておりま。到底叶えられそうにない夢ではありますが、そういう希望をもって、前進することも自分を向上させるためになるものと信じております。

最近ある評論家の方から、関西にいますということは、非常に損だ。今日、東京ばかりに陽があたつて、神戸にいるとローカル扱いされ、実力があっても認められないというお話を伺いましたが、私は生れ育ったこの神戸をこよなく愛しております。三度家を変りましたが、ずっと同じ須磨に住んでおります。姪などにいわせると、須磨など田舎だと申しますが、交通の便利は良いし、一步裏道へ出ると未だに鶯の声が聞けるような閑静な須磨寺があり、三階のお稽古場からは、よく晴れた日など淡路島まで見通せ、舟の行き交う、のどかな景色が眺められます。毎月の東京のお稽古から帰り、若宮のインターチェンジを降り須磨の海岸辺りを車で通る時、磯の香りが、ほのかに漂って、ああ帰って来たなと、ほっといたします。きっと私は一生、この大好きな神戸を離れることはないでしょう。

□ある集いその足あと

観世流の 正流を誇る 神戸観世会

上田照也 神戸観世会理事長

神戸は能とは非常に縁の深い土地柄であることは案外知られていない。能の中で最も有名な曲に「松風」がある。この能の旧蹟は須磨の浜辺であり、いまも町名に松風町と村雨町として残っている。

源平の合戦の物語は殆んど曲に神戸が出てくる。「敦盛」は一の谷の古戦場がその旧蹟である。

能の秘曲「求塚」は芦屋処女の物語りで、いまも東灘にその古跡



神戸観世会定期能 (1.14.) “船井慶”より

が残っている。

能のなかで一般の方に一番よく知られているのは「高砂」であろう。この曲は婚礼の席などでよく謡われているが、この曲の古跡は高砂市の高砂神社に残っている。このように、兵庫県、神戸市は能の旧蹟が多い町なのである。

能にはシテ方だけで五つの流儀がある。金春、宝生、観世、金剛喜多の五流である。その中で一番普及度の高いのは観世流である。「観世流」の能楽師は職業としている人々の団体が神戸観世会であり、会長は観世元正、観世流二十五世宗家である。

この神戸観世会は昭和十三年九月に誕生した。つまり四〇年の星霜を経て現在にいたっている。

神戸観世会は昭和十三年から昭和十九年まで、年八回の定期能、別会能、素謡会などを主催しており、理事長は上田隆一が勤めていた。昭和二十五年、理事長、吉井司郎で再発足、年一〇回の定期能と別会能、素謡会などいろいろな催しを主催してきた。昭和三十六年から理事長は藤井久雄となり、昭和四一年、制度が改革されて、観世元正直属の観世会となり、年四回の定期能を実施することになる。

昭和四七年、藤井久雄理事長を中心に神戸観世会の結束と努力によって、現在の湊川神社能楽殿が

完成した。この能楽殿の舞台の建物は元、東京の観世会館にあった舞台がそっくり移築されたものであり、神戸観世会の拠点が完成された。昭和五二年に私が理事長となり、現在は年四回の定期能の他に、神戸新聞社と共催して、神戸能を実施し、今年も十月十日、神戸文化ホール特設能舞台で、神戸新聞創刊八〇周年記念として第五回目の神戸能が開催される。このほかにシテ方五流の能として神戸五流能が神戸市の主催で行われているが、この神戸五流能でも神戸観世会が大きく寄与している。

画期的な催しとして中学生視賞能がある。神戸市の援助のもとに実施しており、市内の中学二年生を対象に毎年一万人の生徒に解説と狂言と能をそれぞれ一番ずつ観せており、伝統芸能としての能、狂言の理解と普及に地道な活動がつづけられている。こんな催しは全国的にも例がないユニークなものである。神戸観世会はこのほかにも湊川神社新能とか素謡会なども時期ごとに開催している。

いずれにしても、神戸観世会は神戸でもっとも充実した能楽のプロフェッショナル集団であり、観世流正統派の中心団体である。能楽の伝統の継承、研鑽、一般への普及を使命として一層の活躍が期待されている。

刀剣 古美術



イングランド製クロノメータ ¥300,000

鑑定 買入 刀剣 研磨 その他工作
一ヵ月仕上 是非ご用命下さい。
お支払いに便利なローンをご利用下さい

刀 剣 元町美術
古美術

神戸市生田区元町通6丁目25番地

TEL 078-351-0081

神戸に生まれて80年
新しい笑顔で
ごあいさつ。

元町駅のホームから
エキゾチックな顔が
見えました。
レンガづくりの新しい顔が
ひときわ高くほほえんでいます。
元町通りの風月堂が、すっかり新しく
なって、あなたにごあいさつしています。



5 階	茶室・清月庵 特別室・ゴーフールーム
3,4 階	事務所
2 階	レストラン風月堂 緑の庭園「ランスロット・プラザ」
1 階	和洋菓子・茶寮
地 階	風月堂ホール「グラン・バレ・ド・フォーゲツ」

贈る心にお菓子をそえて



神戸 風月堂

本社

神戸元町3丁目 ☎078(321)5555

□私の交友録／若き日の画家と作家達 10

北京での日々 下

伊藤慶之助

△画家・春陽会会員▽



北京内務部街の家の前での筆者

梅原龍三郎先生は三年程続けて北京を描きに來られた。北京飯店の六階の西窓から皇宮の紫禁城を見おろす室に旅装をとかれ、朝、太陽の昇る頃には絵を描き始めて、昼の時間は公園を散歩したり古美術品の店を廻ったりして時間を過ごされ、夕陽が紫禁城に照り輝く時間にはホテルに帰って仕事をされるのが例になっている。

私は北京芸術専科學校の邵先生と前門外の妓館にしばらく姑娘を描きに出かけていたので、ある夜梅原先生が姑娘を描こうといわれた時、邵先生と相談して南支、杭州、蘇州の美女のいる店をさがして数軒歩いた。そして百順胡同の斜街で、杭州生れの落雁という美女を見つけた。次の日には同じ百順胡同で紅樓という南支の姑娘をさがし当てた。梅原先生は姑娘を北京飯店に呼ばれて数枚の油絵を描かれた。姑娘はやりてのおばさんに連れ

られ人力車に乗って北京飯店に来てポーズするが、その出張の花代は取らないけれど帰りはこちらが妓館まで送り届けて多分の花代をつけて遊んでやらねばならないことになっている。妓館につくと、邵と私に支那茶を飲みながら姑娘と話相手になるように頼まれて、梅原先生はそばからしきりにスケッチされるのだが、女の氣に入らない顔が描かれると、先生のスケッチブックをとりあげて幾枚も破いてしまおうのですすが梅原先生も閉口しておられた。

ある日、湯沢三千男先生と小杉放庵の話が出て小杉とは栃木県と同郷で親しいから君も北京にいることだし、小杉をこちらに呼ぼうということになり「イトーモイルカラスグペンニコイコナイトコーカイスルゾ、ユザワ」という電報を秘書に打たせた。まさかと思っていたが、小杉先生は子息を連れられてまもなく北京に着かれた。改札口を出ると、北京東亜新報の徳光衣城社長がインタビューを兼ねて自分で迎えに出ておられた。そして翌日から万寿山、香山、八達嶺など北京と北京の周辺を十日間ほど案内して、小杉先生父子は北京駅から汽車で日本に帰られた。

出発された翌日の夕暮、東亜新報の徳光社長から電話がかかってきてたいへんなさわぎになった。小杉先生父子が乗船された関釜連絡船が下関港外でアメリカ潜水艦に襲撃されて撃沈し、船客名簿には小杉放庵父子の名のっているというのである。私は驚いて、すぐ湯沢先生

の宅にかけつけた。湯沢先生も気がてんとうするばかりに驚き、すぐ東京の内務省に軍事電話で照会して下さった。しばらくして返事があって、小杉先生は同連絡船で下関港に上陸され、船は釜山行の客を乗せて、直ちに下関港外に出たところで、待ちかまえていた潜水艦に撃沈されたということであった。これでやっと胸をなげおろした。

私の住んでいた内務部街は、附近には物売りの店などはなく、古い土塀の家が続く屋敷町で、門を入ると女中の室のある玄關で、そこから朱、青、緑で彩色された扉をあけると広い中庭になっている。中庭を囲んで四方に居室があり、そこが家族の生活の中心である。近所の人達はどのような環境の人達か知らないが、一夫多妻の習慣は存続していて、第一夫人から第三夫人と子供を加えた家族がこの中庭を囲んだ住いで暮らしているのをときおり見かけた。北京芸術専科學校の王之石学長夫人と、北京教育大学の劉教授夫人は姉妹の日本女性で、木更津の生まれである。もちろんこの友人達は一人の夫人を愛



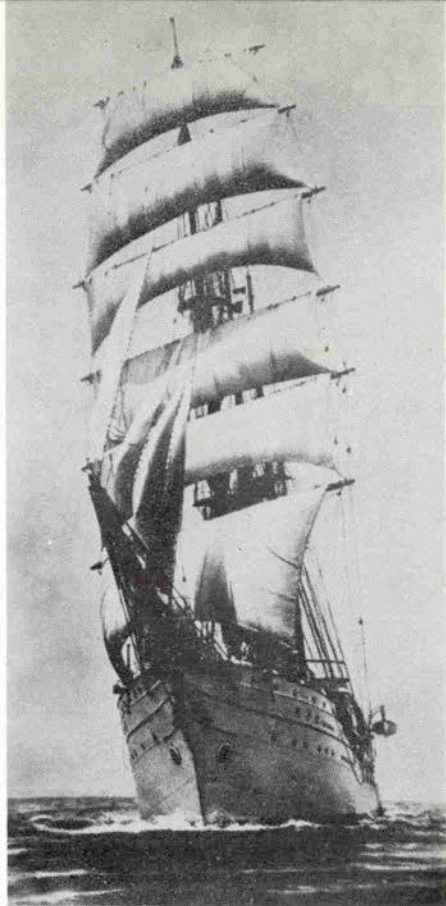
北京百順胡同の美妓

し、自家用自動車を持ち西洋建築の家に住んでいた。中国料理には季節感がないという人もあるが、北京に住んでみると日本と同じように季節によって色々異った魚菜や果実が食膳に出てきて味覚を充分楽しませてくれる。中秋満月が近づき、胡同(横町)の菜館に「鮮蟹上市」の旗がひらひらと秋空に目につく頃になると前門外や東安市場の酒樓、菜館が蟹料理で活気がわいてくる。店頭には新鮮な蟹が積みあげられ、蟹を煮るゆげとおいが食欲をそそる。メニューは醋溜蟹、木屋蟹、芙蓉蟹、蟹羹、蟹粉菜心、白切蟹などときまつたものだが、店によってそれぞれ風味がちがっていてまことにたのしい。仲秋満月が過ぎると、蟹料理はびったり姿を消す。変ったものに醉蟹がある。老酒を煮立てて小壺に入れて冷し、その中に充分泡をふかせた元気のよい活きた蟹を入れて密閉したもので、天津の鮑酢のような風味があって美味である。北京で蜥蜴といもりに似た蛤蚧という四つ足のものを売っていたがこれは古くから不老長寿の妙薬として広く知られたもので、補陽滋陰に靈妙な効果があり、広西でとれるものが、最上だとされている。この蛤蚧は毎交媾ごとに数日を要し、捕えて籠に入れてもなお雄雌は相擁して解けないという。非常に敏捷な動物なので捕える時はその熱烈な習性を利用して月光の明るい夜、石崖の隙間で合歓するころあいをねらって捕獲するものだという。古老の話によると、日本でも古く黒門町や天王寺の黒焼屋の老舗に青大蜥蜴として海を渡ってきたことがあるという。

□神戸商船大学と神戸 △2▽

生きつづける進徳丸

南 正巳△神戸商船大学学長▽



帆走中の進徳丸

鳥島北東方の北太平洋上で猛烈な低気圧に遭遇したのであった。

十九世紀中頃までの数世紀の間に、世界の海は帆船によって征服された。汽船時代の今日でもこの種大型帆船は主な国々で練習船として命脈を保っている。遠洋航海という名で、航海学科の学生が帆船による長期乗船実習を経験することは今も変らない。航海訓練所

所属の帆船日本丸や海王丸の橋上で、真白な実習服姿の学生が登橋礼を行って出港していく光景は、神戸港の歳時記の一つであらう。

戦前、神戸高等商船学校には練習船進徳丸があり、神戸港内の十六番ブイに係留されて、出入港船の人目をひいた。美しい四櫓バーケンチン型の帆装をもつ二五〇〇トン余の鋼船で、真白に塗装された船体の全長は一一〇呎、船幅一三・五呎、高さ五六呎あり、帆船独特の鳥のくちばしに似たバウスピリットを突き出していた。当時シドニー湾口に架けられたばかりのハーバーブリッジのクリヤランスが五二呎もあって、世界のいかなる船もこの下を自由に航行できると自慢していたシドニーっ子の鼻も、進徳丸のシドニー訪問でたちまち折れてしまった

「午後八時、南々東ノ至輕風ニ転ズルト思フ間モナク、猛雨トトモニ、突如北々西ニ急転シ、風力ガゼン七トナリ、総帆逆ヲ打チ、船体右舷ニ傾斜スルコト三十七度ニ及ビタレバ、タダチニ総員ヲ召集シ、縦帆ヲ始メ各帆ノ絞畳ニ努ム。コノ間、風力マスマス猛威ヲ逞ウシ、タチマチニシテ九ニ達シ「レツコー」セル「シートチェン」或ハ「スチラップ」ハコトゴトク火花ヲ発シ「メーニンツウインスル」ソノ他ノ破損セル帆索ハ騒音ヲ交ヘ、奴灣ハ船側ニ碎ケテ飛沫散乱シ、修羅ノ巷モカクヤト思ハシム……」

一路シドニー向け遠洋航海中の帆船進徳丸の航海記録は、昭和六年十二月十五日の状況をこう綴っている。この日、六七名の実習学生を含む一二六名の乗組員は、南



甲板上でのセキスタントによる天測実習中の生徒たち。

戦前二十年間の進徳丸の航跡は、約四〇航海にわたって太平洋を遍くおおい、東はアメリカ西海岸、ハワイ諸島から、南は上記のオーストラリア、ニュージーランドのほか、当時信託統治領であった南洋群島も歴訪している。航海中は甲板を磨く朝のタンツに始まり、操帆訓練、天測実習から船内教室での座学にいたるまで忙しい日課であったが、時には洋上でカツオを釣り上げる楽しい余暇もあった。『老船長の航海余録』という進徳丸航海記で軽妙な筆を揮った初代五野経三船長をはじめ、建造、艤装のときから苦勞を重ね、のちに二代目船長として名手を謳われた林信夫教授など、なかなか多彩な人物が多かった。

しかし開戦後は遠洋航海が許されず、瀬戸内海では帆走もできないという状況下に、四本のマストを下して、石炭焚きの補助機関で航走する汽船に改造したが、内海も機雷投下で封鎖されたのちは全く身動きできなくなった。そして昭和二十年七月二十四日、播磨灘二見沖で仮泊中を米艦載機に襲撃され、六名の犠牲者を出して大破炎上し、ついに帆船としての生涯を閉じた。

この進徳丸が、現在では商船大学のキャンパスの一角で、大阪湾に臨んで設定されているといえは驚く人も多からう。二十一年に引揚げの上、大修理を加えて再起し十六年間航海訓練所練習船として活躍したのち二世進徳丸に座を譲って引退した。

その後五年間、摩耶埠頭の岸壁に係留され、東部第四工区埋立てによる校区拡張のさい、神戸市当局をはじめとする進徳丸保存会の熱意で、この深江に保存の地を得た。船齢五〇年の老進徳丸を世話した一人に元ボースン長田貢氏がいるが、保存がきまっただという報に、氏は船内で嬉し泣きに泣いたという。

いま進徳丸は一年を通じて珍しい大勢の乗組員を迎えつつある。神戸市を中心とした小中学生が、手旗、縄むすび、カッター操練と初歩の海事教育に青少年訓練センターとして活用し、その可憐な集団が年老いた進徳丸の周囲にまっわりついている。

（前掲掲載の川崎正蔵氏と伊藤治三郎氏の写真が入れ替わっていました。訂正してお詫びいたします。）

ほどの屈指の高さであった。

初代の永田泰次郎校長は、当初欧米から古船を買うことも検討したが、結局は英国ファガソン社の設計のもとに神戸の三菱造船所で建造することに落着いた。

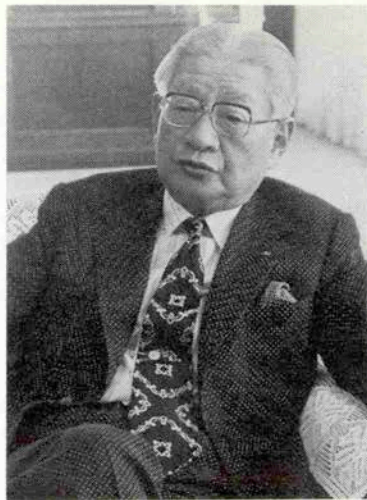
ここに至るまで、ちよとしたエピソードがある。練習船建造委員会の委員の一人であった海軍教育本部長の野間口兼雄大將は、卒業後すぐに役立実務体験の場として、練習船を汽船とするよう海軍側の希望を表明したのに対して、文部省督学官であった小関三平委員は帆船を主張して頑として譲らなかった。

小関氏はのちに永田氏のあとをうけて第二代の校長となったが、当時は東京高等商船学校教授の職にあり、往年同校の練習船大成丸が非常な困難を重ねて世界一周の帆船航海をなした時、後半の期間船長の重任を果たした人物であった。帆船の主張はまさにその体験に基づく発言といえよう。つまり汽船に比べて帆船が現実的効用を持たないことを認めつつも、洋上でたえず気象状況を警戒し、身をもって自然条件を学びとれること、総員が一致協力して操帆に当るなど団体行動の訓練ができること、長期の単調な航海中に物資節約の習慣を養い、気力と肉体の強化に役立つことがその主な理由であった。

ゴルフを通して 国際交流の発展を

乾 豊彦

△日本ゴルフ協会々長・乾汽船株式会社々長▽



日本ゴルフ協会新会長の乾さん

永らく広野ゴルフ倶楽部の理事長をつとめて来られた乾豊彦乾汽船社長がこのほど日本ゴルフ協会会長に就任された。関西から初の会長誕生。さっそく会長としての今後の抱負などをお伺いした。

★加盟クラブ数七八〇の日本ゴルフ協会

日本ゴルフ協会は創立五十三周年になるんです。戦争で活動が一時中断されましたが、戦後、昭和二十四年十二月に復興したわけです。また、この年の初めには関西ゴルフ連盟も出来ました。復興したときから僕は理事をやっていました。今日まで二十八年ですね。途中、今か

ら十五年前から常務理事、副会長になったのが八年前です。

日本ゴルフ協会は東京にあるんですが歴代の会長はというと戦後の第一代は石井光次郎さん、その次が安西浩さん、その次に昨年の二月から山形章さんがやったわけです。そのときの陣容は山形さんが会長で僕が副会長、常務理事が二人。理事は全国の連盟から選出された人が十六人おるわけです。これが日本ゴルフ協会の役員の顔ぶれです。

ところが八十という高齢だったけど非常にお元気だった山形さんが昨年の夏頃より健康を損ねまして十二月十一日に急逝されました。今年の一月二十四日の理事会において僕が会長になられたわけです。山形さんの弟の普さんに副会長になってもらって、田中太一さんが常務理事、こういう陣容です。

そういうわけで会長に就任したんですが、協会でも私ほど古い者はおられませんし、それだけの経歴をもった者もおられませんねえ。ただ、会長は東京に在住すべしというのが僕の持論で、また、そうあるべきだと思っています。

私は広野ゴルフ倶楽部の理事長も三十一年間やっています。これは日本はもちろん世界にもないレコードです。

ような。関西ゴルフ連盟は私の提案で順番制で理事長をやっておりますが、私は五回ほどやりましたかね。今も理事長なんですよ。

私が常務理事になってから今日の日本ゴルフ協会の組織をつくったんですが、復興した当時は日本ゴルフ協会の下に、関東ゴルフ連盟と関西ゴルフ連盟があったんです。関東ゴルフ連盟の人は即日本ゴルフ協会に入っていたわけですが、関西は半分ほどしか入っていなかったですね。関西ゴルフ連盟はそのときは名古屋以西で、わずかに五十ぐらいのクラブでしたが、三十ぐらいしか日本ゴルフ協会に入っていなかった。これを組織がえるのに七年かかりました。

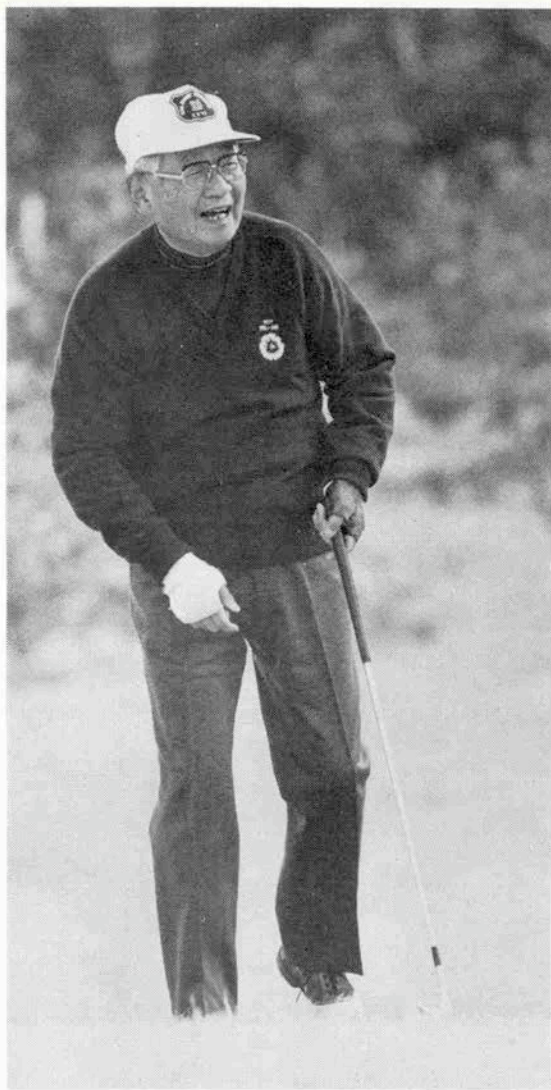
同時に関西ゴルフ連盟を中部（名古屋）、関西、中国、九州の四連盟に分割したわけです。関東ゴルフ連盟も二百以上のクラブがあつて多いからこれを分割すべしといったんですが分割できなくて、今は北海道、東北、関東と三連盟になっているわけです。全部で七連盟の上に日本ゴルフ協会があり、各連盟に入ったら自動的に

日本ゴルフ協会に参加することになり、今、加盟クラブ数七八〇です。本当の姿になったわけですね。

★大いに力を入れた国際親善

日本ゴルフ協会の事業で一番大きいのは日本オープンをはじめ有料（プロ）、無料（アマチュア）の公式行事で、これは年に六回行います。それからゴルフのルール、エチケットを統括すること。それから税制問題ですね。たとえばゴルフ娯楽利用税。

娯楽利用税って十年以上もとられているんですよ。広野などの一流コースは現在千五百円とられるんですよ。自分の土地で高い固定資産税をとられ、また遊興飲食税も払っていますからこんなバカなことではないですよ。スポーツをやって税金をとられるのは日本で、世界どこに行ってもないですよ。また日本でもゴルフだけです。あとは固定資産税とかの税制問題。それと今後はやはり国際交流を考えないといけません。国際親善ですね。国際親善に大いに力を尽したいです。これが今までやって



忙しい合い間をぬってプレーを楽しむ（写真提供・ゴルフダイジェスト社）

来た主な事業です。

世界アマチュア選手権（ワールド・カップ）で二年に一べんずつヨーロッパ、アメリカ、アジアと世界各国を回ります。国際交流ではこれが一番大きいですね。その次がアジアアマ選手権大会。二年に一べんずつ東南アジアの各国を回ります。もうひとつは、アジア・サーキット。これは東南アジア九カ国を回り毎年行われます。今年も最後が日本で四月末に茨城で行われます。アジア・サーキットは今日（二月十六日）ぐらいいからフィリピン、香港、バンコクなどをズーッと回って最後に日本へ来ま



昨年の日本オープンでの優勝杯の授与
（写真提供・ゴルフダイジェスト社）

す。日本のときはたくさん日本の日本プロ選手が出ますでしょう。そのほかに、たとえばコロンビアでやるとか、メキシコでやるとか、その都度選手を出しています。費用の問題もありますが出来るだけ派遣して行こうと思っています。ということは、日本はご承知のように腕はともかくとしてゴルフの盛んなことは世界第二位ですからね。プレイヤーマンも多いし、コースも千二百といえますからね。これはパブリック（公共制）コースを含めてです。

★奮起して欲しい日本のアマ

この間も日豪親善大会があつて一週間ぐらいい前に終つたんですが、オーストラリアの日豪親善財団から日本の選手が招聘を受けて男のプロ、アマ、レディのプロ、アマ各四人が向こうと試合をやったんです。来年ももう一べん向こうでやる。そうすると再来年ぐらいいはこっちでやらないといけない。しかし、これは国際親善に大いに寄与します。政府もゴルフ税をとるんじやなくて反対に奨励助成金ぐらいい出せといいたいですねえ。まあ、これは冗談ですが。（笑）日本はゴルフが非常に盛んなので、各国からの呼びかけが多いですからね。世界の競争裡に出て試合をすることが大いに親善に役立つのではないかなと思つております。

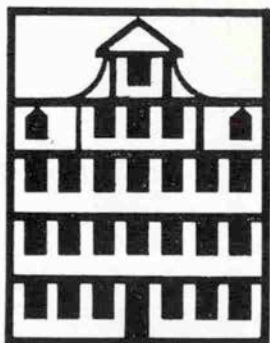
ただ日本はプロは割といいんですがアマチュアは弱いんですね。上手な人はすぐにプロになるからね。国内だけでやっていてはダメですねえ。今は国際社会ですからゴルフも無論視野を世界に向けているのですが、実力が違いすぎます。アメリカとは問題にならないですね。日本のトッププロの層は十人とか二十人とかいますが、アメリカはそれが、二、三百人ぐらいいおるんですよ。

私は一昨年マスターズへ行きましたが、これは世界一のコースで、世界一のトーナメントです。コースの難しさが日本と全然違うんですね。マスターズとかU.S.オープンとか全英オープンとなると三年前にコースを決めるんですからね。それから難しく変えるんですよ。本当の腕が判ります。

そういう実情でコースも違うし腕も違うし層も違う、歴史も違う、全部違う。身体も違いますね。まだまだ力が違いますね。しかし、今日の時代では国際的にならざるを得ないですから、協会としても国際交流には大いに力を入れたいですね。

ドイツでも日本でも

古都フランクフルトのゲーテ
生誕の家に、ユーハイム本店
——— 開店2周年



Goethehaus

おいしさは万国共通

神戸~フランクフルト

ドイツ菓子 *Fackenheim's*

ユーハイム

本	店	三	宮	生	田	神	社	前	TEL (331) 1694
三	宮	店	三	宮	大	丸	前	TEL (331) 2101	
さ	ん	か	店	三	宮	地下街	スイーツタウン内	TEL (391) 3539	
西	ド	イ	ツ	店	フ	ラン	クフルトゲーテハウス内	TEL (0611) 280262	



東京

神戸

池袋バルコ店	日本橋東急店	渋谷東急店	銀座メルサ店	銀座コア店	本部・仕入部
東京都豊島区南池袋一丁目二八二	東京都中央区日本橋通一丁目九二	東京都渋谷区道玄坂二丁目二四一	東京都中央区銀座五丁目七一二	東京都中央区銀座五丁目八二〇	神戸市東灘区青木五丁目一五〇一九
(四階きもの小路)	(四階和装名家街)	(五階和装名家街)	(四階きものコア)	(四階きものコア)	神戸市生田区三宮町二丁目一五
電話 〇三一九八七〇五六一(直)	電話 〇三二二一〇五二一(代)	電話 〇三二二一〇五二一(代)	電話 〇三二二一〇五二一(代)	電話 〇三二二一〇五二一(代)	電話 〇七八一三三二一五二九八(代)
					電話 〇七八一三三二一七〇〇

きもの工芸

おんがら屋

MAKE UP WITH ROYAL

さあ出掛けよう
ファッショングラス



有名ブランドのサングラス、ファッショングラスのことなら神戸眼鏡院におまかせ下さい。

ジバンシー ランバン ニコン ロペール
クリスチャンディオール プレイボーイ
ニナリッチ レイバン イブサンローラン

 神戸眼鏡院

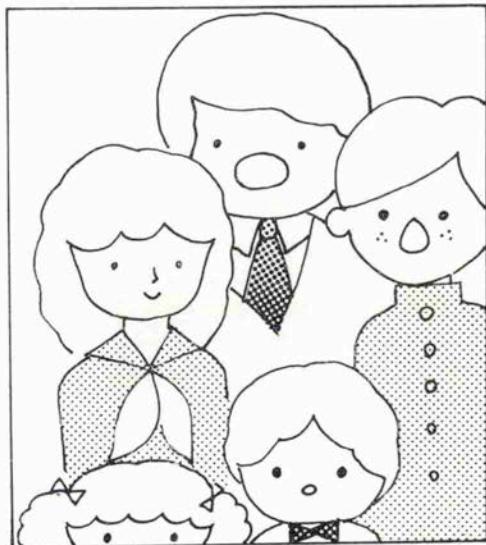
元町店・元町3丁目 ☎(321)1212代表

三宮店・さんちかタウン ☎(391)1874~5

元町店は毎水曜日が休みです

三宮店は第2、3水曜日が休みです

新入学おめでとうございます



新しい出発を ケーキで祝って下さい

北 欧 の 銘 菓
ユーハイム・コンフェクト

■本社・工場・熊内店 神戸市灘区熊内町1-8(南蛮美術館東隣) TEL.221-1164
■三宮センター店・さんちか店・大丸・そごう・阪急・三越・神戸アパート・元町店